第1回既存戸建住宅のZEH化推進に向けた作業部会でのプレゼンテーションのお願い

■ 趣旨

- 本作業部会では、次年度以降に、既存戸建住宅の実情を踏まえたZEH定義や施策ロードマップを策定すべきかの議論を行うために、必要な事例収集、シミュレーション、課題整理を行う、ことを目的としております。
- その中で、第１回作業部会（1/14（火）13:00-15:00）では、既存戸建住宅におけるZEH改修や省エネを目的としたリフォーム・リノベーションの実態や課題に係るご議論をいただきたいと考えております。
- つきましては、業界団体・事業者の委員の皆様方より、プレゼンテーションをお願いできればと考えております。
趣旨を御理解の上、御協力いただけますと幸いです。

■ プレゼンテーションの概要

- プレゼン時間：7分程度
- プレゼン資料：パワーポイント資料を事務局で印刷の上、作業部会にて付議（プロジェクターでの投影は行いません）
- 資料〆切：令和2年1月9日（木）正午
- 資料送付先：株式会社野村総合研究所（2019exzeh@nri.co.jp）
- プレゼン内容（案）：
  - ① 既存戸建住宅のZEH改修や省エネを目的としたリフォーム・リノベーションの取組みの現状
  - ② 上記の課題
    - 現行のZEHの定義・基準と照らして、既存戸建住宅のZEH化改修で課題となる点は何か。
    - 築年数や立地地域による違いがあれば、その点についてもご紹介いただきたい。
  - ③ ZEH化改修の基準はどうあるべきか
    - 設計時評価（省エネ計算ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝでの評価）とすべきか。運用実績での評価とすべきか。
    - 一部空間（主要居室等）での評価を可とすべきか。その場合、省エネ計算ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ（WEBPRO）との連動をどう考えるか。等
  - ④ ZEH改修を普及させる上で求められる施策